

2. 各特別勘定の運用状況

日本株式型特別勘定 運用状況 (2009年8月末現在)

運用方針

- 主に日本企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 東証株価指数(TOPIX)を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行っていきます。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	17,307,141	97.5%
現預金・その他	448,014	2.5%
合計	17,755,155	100.0%

運用状況

2009年8月の国内株式市場は、TOPIX(配当込み)で1.65%の上昇となりました。経済指標の改善や予想を上回る企業決算を受けて、景気底入れ期待が高まる中、底堅い値動きとなりました。日経平均は月間で135円高の10,492円で8月の取引を終了しました。このような市場環境の中、当特別勘定は2.30%上昇しました。

現在、マルチ・マネージャー型の「ラッセル日本株式ファンドI-3」、グロース運用を行う「モルガン・スタンレー日本株式グロース・ファンドI」、ならびにバリュー運用を行う「日本株バリューマルチマネージャーファンド」および「SGターゲット・ジャパン・ファンド」への投資を行っています。

8月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

9月には、モルガン・スタンレーアセット・マネジメント社は、日本株グロース運用から撤退する予定となっています。同社の「モルガン・スタンレー日本株式グロース・ファンド I」を全売却(償還)し、「ラッセル日本株式ファンドI-3」、「日本株バリューマルチマネージャーファンド」および「SGターゲット・ジャパン・ファンド」への入れ替えを行う予定です。ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討する予定です。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
93.10717193	+2.30%	+9.26%	+32.30%	▲17.38%	▲37.44%	▲11.86%	▲6.89%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(1986年12月1日)を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:1986年12月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]

ラッセル日本株式ファンド I-3 (58.5%) : p15上段
モルガン・スタンレー日本株式グロース・ファンド I (11.5%) : p15下段
日本株バリューマルチマネージャーファンド (15.7%) : p16上段
SGターゲット・ジャパン・ファンド (11.9%) p16下段
現預金・その他 (2.5%)

(注)「p15上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。